

しょくいく 食育だより 10月

令和7年9月30日
江戸川区立東小岩小学校
校長 佐々木恵子
栄養士 齋藤沙菜

みんなの給食 ~給食からSDGsを考える~

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現のため、SDGsに取り組んでいます。「みんなの給食」は、江戸川区全小中学校で給食からSDGsのことを考える取り組みです。今回は、フライで使った油を焦点にSDGsについて考えます。

10月9日(木) SDGs 献立

ミルクパン
東京湾のすずきのフライ
ほうれん草のソテー
皮ごとかぼちゃのポタージュ



Fly to Fly Project



あぶら ひこうきと 油で、飛行機を飛ばそう!

はいゆ つく じぞくかのう こうくうねんりよう 廃油から作られる持続可能な航空燃料「SAF (サフ)」とは?

持続可能な航空燃料として SAF (Sustainable Aviation Fuel) が注目されています。最新の技術を用いると、家庭や店舗で使用された食用油(廃油)から航空燃料を作ることができます。この油から作られた航空燃料は、SAF と呼ばれ、従来の航空燃料に比べCO₂の排出量をおよそ84%減らすことができます。

私たちが暮らす東京都は、利用客も多く、航空貨物を含めて都市活動に飛行機が欠かせません。そのため、航空業界の脱炭素化に積極的に取り組む必要があります。

とうきよう せかいいくじょう かにい あぶら かいしゅう SAF×東京2025世界陸上 家庭の油 回収キャンペーン

東京で行われた世界陸上ですが、サステナブルな取り組みの一環として、SAFの原料となる使用済みのてんぷら油など、家庭から出る油を回収するキャンペーンを10月31日まで実施しています。

国内では年間10万トンの油が家庭から出ていますが、そのほとんどがリサイクルされず、可燃ごみとして捨てられています。SAFは、廃油などの原料の確保が課題となっています。ぜひ、この機会にSDGsの取り組みとして、廃油をリサイクルしてみませんか?

江戸川区では、下記のスポーツ施設7か所で、廃油の回収を行っています。

期間：令和7年5月1日～令和7年10月31日

場所：総合体育館、スポーツランド、スポーツセンター、スパアーズえどりくフィールド、

オーエンススタジアム江戸川、臨海球技場、水辺のスポーツガーデン

詳細については、下記の江戸川区環境部清掃課のホームページやチラシをご覧ください。

https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e025/kurashi/gomi_recycle/gomigenryo/abura.html

ひがしこいわしょう きゅうしょく はいゆ ひこうき ねんりよう 東小岩小の給食の廃油は、SAFとして飛行機の燃料に!

東小岩小の給食の油は、米からできた「米油」を使っています。油が汚れないように揚げ物の順番を工夫して、油を何度か使いまわしています。しかし、油切れがよくない・変色してきた油は、廃油になっています。これまで、廃油は、業者に引き渡して、リサイクルしていました。

今年4月新たに、東小岩小は、SAFの協力業者と契約しました。給食の廃油は、既にSAFとして使われています。7月には、実用化された国産SAFが羽田空港発の定期旅客便に供され始め、飛行機の燃料になっています。これからもSDGs目標達成のために、小さなことから地道に取り組んでいきます。

